

2017年5月22日

株式会社レノバ

熊本県南阿蘇村湯の谷における地熱資源量把握のための調査事業について ～JOGMEC 助成金採択のお知らせ～

熊本県南阿蘇村湯の谷において地熱開発を計画する、3社共同事業者グループ：株式会社レノバ（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 木南陽介）、株式会社フォーカス（東京都港区、代表取締役 江村真人）、デナジー株式会社（東京都品川区、代表取締役 中野大吾）は、当地での地熱資源の資源量調査実施にあたり、2017年5月17日に独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）より、「平成29年度地熱資源量の把握のための調査事業費助成金交付事業」として採択されましたのでお知らせいたします。

JOGMEC 発表資料 : <http://www.jogmec.go.jp/news/bid/content/300335485.pdf>

<地熱資源調査概要>

- 調査エリア 熊本県南阿蘇村湯の谷（株式会社フォーカスの100%子会社所有地内）
- 調査内容
 - 坑井掘削工事：地熱資源量を把握するための井戸を掘削します
 - 坑内検層・坑井試験：掘削した井戸の特性を把握するための試験を行います
 - 坑井地質調査：掘削した地質を分析・確認します
 - 総合解析：得られた結果をもとに地熱資源量を評価し、今後の開発計画を立案します
- なお、温泉モニタリングは、私どもの調査エリアの外周部にて、同じく地熱資源の資源量調査を行う他事業者様グループと平成27年度より共同で実施しております。

<レノバ地熱資源開発の考え方と進め方>

- 私どもは、地域の温泉・自然環境と調和する、長期にわたって持続可能な地熱資源利用の実現を志しています
- 地熱資源量調査は、地域関係者の皆さま、南阿蘇村、熊本県などと継続的な連携を図りつつ、ご理解を得ながら進めて参ります

レノバは経営理念として「グリーンかつ自立可能なエネルギーシステムを構築し重要な社会的課題を解決する」を掲げ、日本全国において再生可能エネルギーの開発事業を推進しております。再生可能エネルギー開発事業の推進にあたっては、地域の皆さまとの積極的な対話を通じて共生・発展をめざしつつ、安心、安全、そして低環境負荷のエネルギー供給体制の実現に貢献してまいります。

「リリースに関するお問い合わせ先」

株式会社レノバ 社長室 Tel:03-3516-6263/Eメール press@renovainc.jp